

## ▼土木と市民社会をつなぐフォーラムから「土木学会委員会等の活動」

## 長寿社会 と 土木技術者

For the elderly, for the next elderly, and from the elderly in the civil engineering

(公社) 土木学会 成熟したシビルエンジニア活性化小委員会 委員長  
日本工営株式会社

黒田 武史



## ■健康寿命と定年退職と

出勤時、家の近所を歩いていると、<sup>かくしゃく</sup>矍鑠として壮健そうなおじいさんが、手持ち無沙汰で周りを眺めています。角の家では知的で健康そうなおじいさんが、一人で朝から庭や道路の掃除をしています。町内会の溝掃除では、隣のご主人が定年退職になり、あまり出歩くこともなくなったとっていました。

令和元年の日本の健康寿命は男性で 72.7 歳、女性は 75.4 歳。企業の定年は 60 歳。定年延長で 65 歳まで勤めることが標準になってきましたが、それでも引退するには早すぎると感じています。

人間は社会的動物であり、多くの人が社会とのつながりを求めていると思いますし、私自身もそうです。いわゆる定年退職を迎えた後、いかに楽しく生活するか。以前インドネシアに赴任していた際、80 歳を超えたインド人技術者が、誇り高きプロフェッショナルとして仕事をしていたことを思い出します。

## ■成熟したシビルエンジニア活性化小委員会について

「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会」は土木学会 教育企画・人材育成委員会の下に設置された小委員会で、2007 年から活動をしています。設立時は団塊世代が 60 歳となり定年退職を迎え、土木技術者の技術継承と定年退職後のシニア世代の活動活性化を課題ととらえ、活動を開始しました。

シニア世代の活動活性化として NPO 活動への支援活動を実施してきましたが、その活動はシビル NPO 連携プラットフォームの設立につながり、シビル NPO 推進小委員会に受け継がれました。現在、当小委員会では、土木界を中心とした「シニア層の活躍」と「シニアになっても活躍を続けるための方策」を求め、30 歳代～70 歳代の委員 15 名で活動をしています。

## ■活動の紹介

“For the elderly, for the next elderly, and from the elderly in the civil engineering”

2021 年から、当小委員会では上記標語を掲げ、シニア層・現役世代を対象とした活動をしています。今現在は、2012 年～2017 年にかけて実施したインタビュー企画「[シニアに学ぶ『退職後の輝き方』](#)」の掘り起こし・再掲載、そして 2007 年から 5 年ごとに実施している「企業内の定年退職後の技術者雇用に関する実態調査」を進めています。

しかし、何よりも小委員会の活動自体を社会的活動ととらえ、シニア層・現役世代が交じり合う楽しい活動を続けること自体も大きな目的として、2 か月に一度程度の委員会（と懇親会）を開催しています。

## ■ぜひ HP や SNS もご覧ください！

当小委員会の活動は HP や SNS で発信しています。SNS では、私たち土木関係者が、普段の仕事や生活でどのようなことを考えているか、ということも発信していく予定です。土木のことをより身近に感じていただければと思います。

ご興味を持たれた方は、ぜひアクセスをお願いいたします！

note [https://note.com/civil\\_id](https://note.com/civil_id)HP <https://committees.jsce.or.jp/education05/>FB <https://bit.ly/3IG816Q>

オンライン委員会の一コマ